

## サインウェーブと英検協会の自動採点実証研究で成果 2019年度から英検に順次本格導入予定

株式会社サインウェーブ（所在地：東京都千代田区、代表取締役：赤池雅光、以下「サインウェーブ」）は、公益財団法人 日本英語検定協会（所在地：東京都新宿区、理事長：松川孝一、以下「英検協会」）と、AIによる自動採点につきましてスピーキングテスト及びライティングテストの共同研究を進めて参りました。このたび、人の手を介した通常採点と遜色無い成果が出ましたので、2019年度から従来型の実用英語技能検定（以下「英検」）、ならびに英検 CBT におきまして、通常採点に加え、サインウェーブの自動採点技術を並行的に導入していく予定であることをご報告いたします。

今後、大学入試に英検をはじめとする外部の資格・検定試験の活用が推進されており、採点については迅速かつ確実に対応する事が求められています。これらのニーズに対してAIを使った自動採点は解決策の1つと言われおり、サインウェーブでは自動採点を高精度で行える採点エンジンを開発すべく、英検協会と共同研究を進めて参りました。

スピーキング問題の自動採点では、英語の文章を読み上げる問題と文章を自分で考え発話する自由発話形式の問題があり、特に自由発話形式の問題の採点は難しいとされてきましたが、サインウェーブは iFlytek 社※の自動採点技術を活用しそれらの技術的な問題を解決しました。

共同研究では、スピーキングの音声認識とライティングの文字認識の認証精度の高度化を追求し、個人情報除去したこれまでの英検の回答データを用いて、英検の一部採点業務にて、本技術の実証実験をおこない一定の成果が見られました。

それに伴い2019年度から下記のテストに対し自動採点を導入し、精度向上、生産性向上等の改善を順次進めていく予定です。

2019年度第1回検定から自動採点を導入するのは、従来型の英検では1級、準1級、2級、準2級、3級の全級のライティングです。スピーキングは、まずは4級、5級で導入し、随時1級、準1級、2級、準2級、3級の残級で導入していく予定です。英検 CBT では、第1回検定から実施級である2級、準2級、3級の全級でライティング、スピーキングどちらも導入してまいります。

昨今の英語教育においては4技能の習得が重視されており、英検協会の受験者数は増加が予想されます。今後の受験者増に迅速かつ確実に対応するために、両社が保有するノウハウ・技術を提供し合い引き続き共同開発を進めて参ります。

※iFLYTEK社は、中国国内の入学試験で英語スピーキング試験を累計2,000万人以上の自動採点を行ってきた実績があり、日本ではサインウェーブ社と資本業務提携をしております。

[本件のお問い合わせ先]

株式会社サインウェーブ 教育事業部 広報担当 廣瀬まどか

TEL : 03-4500-9125 FAX : 03-4500-9126 E-mail: pr@sinewave.co.jp